

令和 8年度予算見積調書

課室名：税務課
担当名：税務DX推進担当
内線：2655

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P22	税務行政のDX化推進事業			一般会計	総務費	徴税費	賦課徴収費	税務システム維持管理費	
事業期間	令和 6年度～	根拠法令	なし			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	9
						分野施策	0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	9-1
1 事業概要 税務業務を電子化し、紙前提の業務プロセスからの脱却を図るため、文書管理システムを構築するとともに、現在のように決められた場所や環境に縛られず、多様な働き方を実践できるようなテレワーク環境を構築する。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 文書管理システムの構築・運用事業 インターネットセグメント以外で使える文書管理システムを構築する。 令和6年度に設計を開始し、令和8年7月の稼働を目指す。 イ テレワークシステムの構築・運用事業 税務基幹システムのLGWAN系への拡張、シンククライアントシステムによる情報セキュリティ確保を前提としたテレワーク実行環境を構築する。 令和6年度に設計を開始し、令和8年7月の稼働を目指す。 (2) 事業計画 文書管理システム・テレワークシステムの構築・運用事業 ・令和6年度 基本設計 ・令和7年度 詳細設計、構築 ・令和8年度 テスト、稼働 (3) 事業効果 ・窓口業務改革により、県民や事業者の申告に要する時間が削減できる。 ・税務業務において、ペーパーレスが推進される。 ・税務業務の電子化により業務の効率化が図られる。 ・育児や介護等がある職員も柔軟な働き方が可能となり、能力が十分に発揮できる。 【活動指標（アウトプット）】 ・税務業務の電子化 ・税務業務でのテレワークの実現 【成果指標（アウトカム）】 ・県民等の窓口に要する時間約21,000時間削減 ・ペーパーレス約390万枚 ・災害時等の業務継続					
ア 文書管理システムの構築・運用事業 82,037千円									
イ テレワークシステムの構築・運用事業 108,091千円									
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人＝38,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	190,128							190,128	△749,872
前年額	940,000							940,000	

事業内訳書

事業名	税務行政のDX化推進事業		
単位事業名	文書管理システムの構築・運用事業	予算額	82,037千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	82,037	△663,987	
合計	82,037	△663,987	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	21,985	13,104	専用回線、チャット機能利用料
委託料	22,300	△714,843	文書管理システム設計・構築業務委託
使用料及び賃借料	37,752	37,752	サーバ等機器賃借
合計	82,037	△663,987	

単位事業名	テレワークシステムの構築・運用事業	予算額	108,091千円
-------	-------------------	-----	-----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	108,091	△85,885	

単位事業名	テレワークシステムの構築・運用事業	予算額	108,091千円
-------	-------------------	-----	-----------

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	108,091	△85,885	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	73,418	△120,558	テレワークシステム構築費
使用料及び賃借料	34,673	34,673	サーバ等機器賃借
合計	108,091	△85,885	